

ここが見どころ！



【大会提供花火】 ワイドスターメイン「土浦花火づくし」

19:00頃打ち上げ予定

競技とは別枠で披露される大会提供のワイドスターメイン。全長500m、約2,200発の花火が夜空を覆い尽くします。今年もその迫力に圧倒されること間違いなしです！

10号玉

上空330mまで打ち上げられ、直径320mの大輪の花を咲かせる10号玉の部。1玉ずつ打ち上げられるので、花火本来の美しさが堪能できます。

真円を描いているか、星の配色や鮮明度が優れているかなどが鑑賞のポイントです。



スターメイン

2分30秒内に数百発の花火を音楽にあわせて連続して打ち上げます。色、鮮明度、花火と音楽のイメージがあっているかなどがポイント。夜空に繰り広げられるダイナミックな光景は、息つく暇もないほど見ごたえがあります。



創造花火

決まった形にとらわれず、斬新なアイデアを競うのが創造花火。文字や動物などを描いた花火が夜空に打ち上げられます。形、色、鮮明度はもちろん、玉の向きも重要。花火師の創造性を追及した花火は観客の目を楽しませてくれます。



ARTISTIC NIGHT IN TSUCHIURA

土浦の花火を見に行こう！！

色と音、光の瞬間芸術。
土浦が感動に包まれる夜…

土浦全国花火競技大会

全国から集まる花火師たちが、スターメイン・10号玉・創造花火の3部門で腕を競い合います。3部門の優勝者の中から最も優れた出品業者に対しては、内閣総理大臣賞が贈られます。

また、大会提供のワイドスターメイン「土浦花火づくし」の迫力は圧巻。日本一と呼ぶにふさわしい土浦の花火をぜひお楽しみください。

大会最新情報

★大会開催の決定

前日10月5日(金)の午前9時に決定。市ホームページ、土浦全国花火競技大会ホームページ、公式ツイッターでお知らせします。

★公式パンフレット

土浦市役所本庁舎案内、商工観光課、土浦市観光協会、まちの駅などで販売。【1冊100円】

★花火グッズ

大会オリジナル花火グッズを土浦まちかど蔵大徳、土浦駅東口観光物産館「きらら館」で販売中。当日は会場周辺のオフィシャルショップでも販売します。

これからの時代の花火として、環境に優しい花火作りにも取り組んでいます。花火玉の中には、星と呼ばれる火

株式会社山崎煙火製造所

土浦全国花火競技大会の初代内閣総理大臣賞受賞業者。
【受賞大会:69・70・75・79回】



代表取締役 山崎芳男さん

薬を飛ばすための「割粉」が詰められています。打ち上げた後にその割粉が燃えきらずに地上に落ちてきてしまいます。夜空で色鮮やかに燃えた後にかすが残らない花火を開発し、ごみを減らす工夫をしています。今は環境への影響を無視してはならない時代です。同じように美しい花火なら、環境に優しい方がいいですから。

新しい時代にふさわしい 花火づくりをめざして

土浦の花火大会が来るたびに花火が日々進化しているのを実感します。10号玉には「八重芯」という花火がありますが、実際の芯は2つです。3つ入るのが三重芯、4つ入るのが四重芯。なぜ二重芯入りでなくて八重芯入りかというと、疑問を持たれる方もいるかもしれません。これは、昔、芯が2つ入った花火を見た人がこれ以上のことはできないという驚きから、「八重芯」になったそうです。当時は究極の花火だったのです。でもその後、花火は進化し、今では五重芯も打ち上げられるほどになりました。芯を沢山入れる事は花火玉の構造が複雑になり、手間も大変です。技術も高いものを要求されます。土浦の花火大会でも、花火師たちが追求している無限の世界を見ることができると思います。

花火の世界は、本当に奥が深く複雑です。40年ほど花火作りに携わっていますが、分からないことがたくさんあります。機械ではなく、すべて人の手で作っているの、同じように作ってもそのときの天気や気温、風向きなどで違ってきます。そして一つの花火に、花火師の気力までもが出てしまいます。そこが花火の難しいところでもあります。またおもしろいところでもありません。常に現状に満足せずに新しい花火

今年の自分を超越する 花火を追い求めて

で、大変な時間とエネルギーを使います。そんな作者の思いを受け取ってほしいと思います。土浦の花火は、質も規模も最高峰。競技大会の結果も大事ですが、花火は、数学のように回答の出ないものです。見る人それぞれが「いい花火」として心に刻んでもらえればと思っています。

野村花火工業株式会社

土浦全国花火競技大会で歴代最多の7回、内閣総理大臣賞を受賞。
【受賞大会:71・72・73・74・77・78・80回】



代表取締役 野村陽一さん

毎年、土浦の花火競技大会には出品していますが、どんどんレベルが高くなっています。花火競技大会は、花火大会と違い出品花火に対する評価がつくので、どの花火師も力を入れています。私たちも毎年新しい花火で挑戦できるように、日々研究・改良を重ねています。

を追求していきたいです。今年の土浦の花火では、10号玉で、これまで以上に四重芯を配色よく、クリアに出すことが目標です。また、スターメインは、今年で3部作が完結します。一昨年「夜空のデュエット」光のハート」で男女の出会いを、昨年「夜空のウェディング」で結婚式をイメージした花火を打ち上げました。そして今年「夜空の子守唄」をテーマに子どもの誕生で物語が完成する予定です。皆さんには、そんなストーリー性も楽しんでもらえたらと思います。スターメインは、企画・演出、音楽とのシンクロの緻密さ、ストーリー性など総合力が問われます。400発、2分30秒の中に、すべてを込めなければならぬので、大変な時間とエネルギーを使います。そんな作者の思いを受け取ってほしいと思います。土浦の花火は、質も規模も最高峰。競技大会の結果も大事ですが、花火は、数学のように回答の出ないものです。見る人それぞれが「いい花火」として心に刻んでもらえればと思っています。

花火師が語る「花火の世界」

インタビュー